



Faculty of Architecture
Aichi Shukutoku University

建築を学ぶ、 手で考える、 五感で感じる

愛知淑徳大学
建築学部 の 学びの現場





創造表現学部 創造表現学科 建築・インテリアデザイン専攻は、2025 年 4 月に建築学部 建築学科へと分離・独立しました。それに伴い、建築学部専用の実験室及び多目的学修スペース等を備えた実験棟である「建築 ANNEX 棟」が同年 3 月に竣工しました。構造実験室やプレゼンテーションホールがある棟と、材料実験室・共同演習室、環境実験室等がある棟とが中庭を介して多目的学習空間（通称：ラーニングコモンズ）で繋がれています。

8号棟 4 階からは空中回廊で接続されており、季節や時刻の変化を感じながら、建築学部の学生が多様な学習・活動、自然な出会いを促す建物となっています。



建築 ANNEX 棟 プレゼンテーションホール

大型スクリーンと音響設備を備えた階段状座席のある多目的空間です。木のぬくもりと現代的なデザインが融合した階段状のスペースは、単なる移動のためではなく、学生たちが自由に座って読書をしたり、対話を楽しんだり、学び合ったりする「ラーニングcommons」の一部として創造性とコミュニケーションを育む「学びの舞台」



として機能します。コンクリートの柱と大きな開口部からはやさしい自然光が差し込み、落ち着いた雰囲気を出します。壁面の本棚には、建築系の書籍・雑誌だけでなく、学生の設計作品の図面や模型も展示されます。



建築 ANNEX 棟 ラーニングcommons

自然光に包まれた開放感あふれる「創造と対話のラウンジ」です。床から天井まで伸びる大きな窓からは、キャンパスの風景と光がふんだんに取り込まれ、時間の移ろいとともに空間の表情が変化します。

木の素材感を活かした家具とフローリングは、ぬくもりと柔らかさを演出し、学生たちがリラックスしながら集中できる雰囲気をつくり出しています。

特徴的な天井の幾何学的デザインは、視覚的なアクセントとなり、空間にリズムと知的な刺激を加えています。自由に動かせる丸テーブルとスツールは、グループワークから個人作業まで多様な学び方に対応します。窓辺のカウンター席は一人で集中したいときに最適です。

ここは、学びの合間にふとアイディアが生まれるような、機能性と美しさが調和した現代的な学修の場です。

建築 ANNEX 棟 環境実験室

この空間は、温熱・光環境を体感する教室としてだけでなく、建築環境に関する研究のための実験室としても活用されます。

周囲環境の光や熱などを積極的に利用するための建築的な工夫が施されています。例えば、直射日光を防ぎつつ太陽光を取り入れるための外付けルーバーと広めのバルコニー空間、採り入れた太陽光と調和する有機 EL 照明、天井面全体を冷やしたり温めたりして柔らかい涼しさや暖かさをつくり出す天井パネル式放射冷暖房などです。



グラウンドから見る建築 ANNEX 棟と8号棟

広々としたグラウンド越しに見えるのは、建築 ANNEX 棟（左側建物）と8号棟（右側建物）です。建築 ANNEX 棟では建築構造や材料、建築環境学など演習や実験が行われ、8号棟では講義や設計演習などが行なわれます。

この風景は、学びと実践が一体となった姿勢を反映しています。



柔らかい陽が差し込む中庭

建物中央部にあるこの中庭は、授業の合間に一息ついたり、白いベンチに座って心地よい風を感じつつ思索や対話を楽しんだりする場所です。季節や時間とともに表情を変えるこの空間は、穏やかなリズムをもたらします。





建築 ANNEX 棟 共同演習室

構造実験や材料実験の実習や実験前の講義を行ないます。



建築 ANNEX 棟 材料実験室

コンクリート試験体の製作・試験、木質材料等の試験等を行ないます。



建築 ANNEX 棟 材料実験室

油圧式万能試験機を用いて、試験体の構造性能を測定します。



建築 ANNEX 棟 材料実験室

材料実験などの演習科目で作成するコンクリート供試体の型枠が保管されています。



建築 ANNEX 棟 構造実験室

構造実験室は、建築物や土木構造物の安全性や性能を科学的に検証するための専門施設です。この実験室の床は全面が高剛性の耐力床で構成されており、試験体の固定や装置の設置が自由に行えるよう工夫されています。特に注目すべきは、最大荷重 1000 kN（キロニュートン）に対応した大型の載荷試験機が設置されている点です。この装置を用いて、コンクリートや鋼材などで構成された柱・梁・壁などの構造

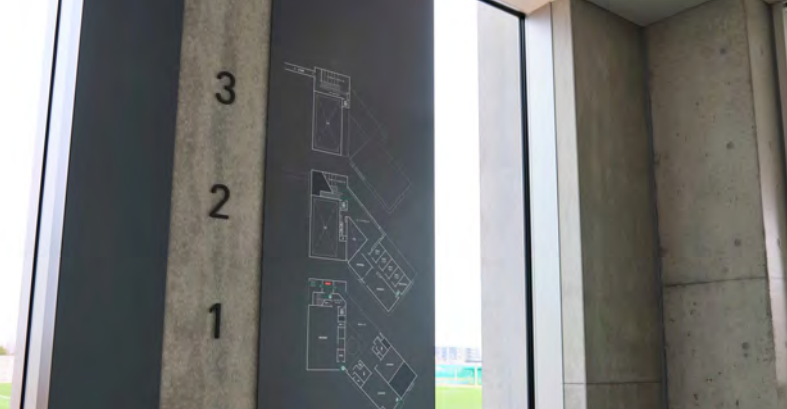
部材に対して鉛直方向や水平方向から力を加え、変形の様子や破壊の過程、繰り返し荷重に対する耐久性などを詳細に測定します。これにより、新しい構造技術の開発や、既存構造物の補強法の検証、安全基準の策定などに役立てられています。

建築 ANNEX 棟北東側（グラウンド側）外観

建築 ANNEX 棟の北東側、2階にあるラーニング commons の窓からは、グラウンドで行われている運動部の試合の様子や、日進市の街並みがよく見えます。天気の良い日には、遠くに「岩崎御嶽山（いわさきみたけやま）」という小さな山も見渡せます。長久手キャンパスのすぐ隣にある日進市は、暮らしに便利な都市の機能と、のびのびとした自然がうまく共存しているまちです。

静かで落ち着いた雰囲気があり、自然や歴史、交通の便利さがそろっているので、住みやすい環境が整っています。





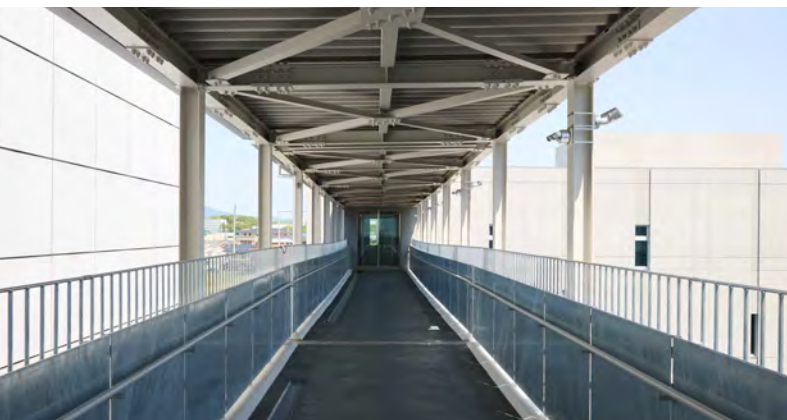
建築 ANNEX 棟 エントランス内案内看板

各階の平面図がデザインされた案内板



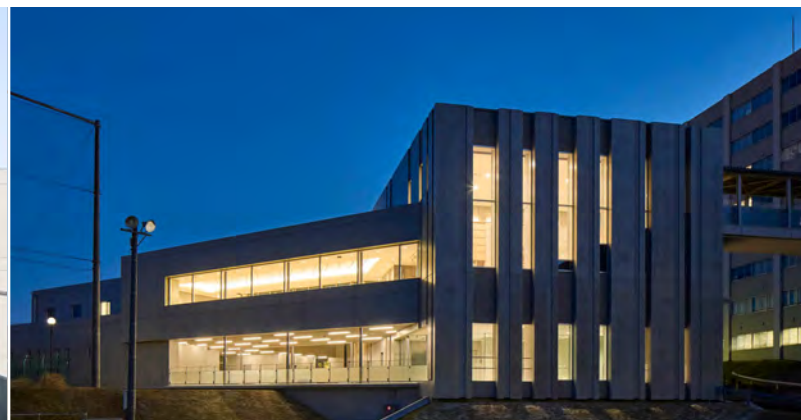
8号棟と空中回廊、建築 ANNEX 棟

8号棟4階(写真左側建物)から建築 ANNEX 棟(写真右側)へとつながる空中回廊。



空中回廊

8号棟4階側から建築 ANNEX 棟3階側を見た空中回廊の内部です。



建築実験棟

夜間には、建築 ANNEX 棟が浮かび上がります。



8号棟1階 ものづくり工房

家具や木工製品などの製作を行うために整備された工房空間です。この工房は、建築空間サイズの作品から、日常で使われるようなテーブルや椅子といった家具サイズの作品まで、多様なスケールのものづくりに対応できる十分な広さがあります。設置されている機器には、高精度な加工が可能な3次元CNCルーターや、大型の板材を正確に切断するための木材加工機パネルソーなどがあり、プロ仕様の設備が揃って

います。これらの機器を使って作業を行なう際の安全管理や正しい操作方法を修得し、実際に手を動かしてモノをつくることで、素材の特性や構造の考え方、製作工程の重要性などを学びます。

3次元 CNC ルーター

CNC ルーターは、コンピューター制御で刃物を動かし、木材、樹脂、金属などの素材を高精度に立体加工できる機械です。複雑な形状や曲面も自動で切り出せるため、家具や空間の装飾部材など、様々なサイズや形状のモノを製作できます。



木材加工機パネルソー

パネルソーは、木材や合板を正確かつ効率的に直線カットするための木材加工機です。大型の板材を縦・横方向に切断でき、家具製作や建築資材の加工が行なえます。



8号棟5階 建築学部図書室

建築学部所属学生のための図書室です。

建築の専門書、建築デザイン系や住宅建築の雑誌、インテリアデザイン・店舗空間デザインの書籍などを揃えています。



8号棟4階 プレゼンテーションルーム

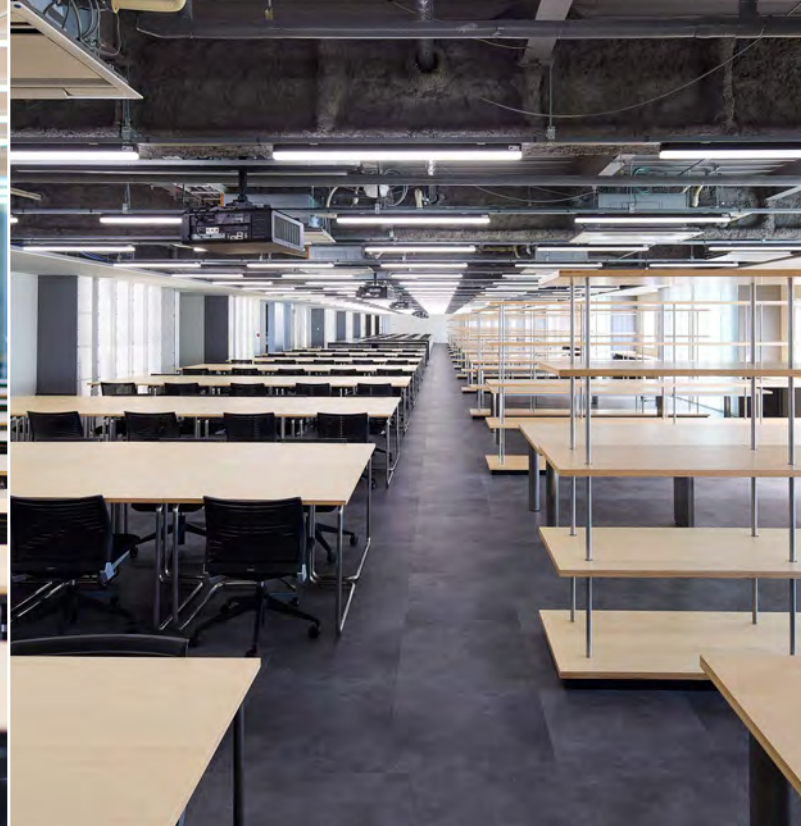
設計課題や卒業設計、論文の発表や講評会などに使用される多目的な発表空間です。カラフルな椅子が並ぶ明るい室内には、プロジェクターや音響設備も備えられており、活発なディスカッションを通してプレゼンテーションの技術を学びます。





8号棟5階 1年生・2年生の製図机スペース

1年生と2年生の全員に、それぞれの製図机が割り当てられます。製図だけでなく、講義の予習や復習、レポート課題なども、お互いに教え合いながら進めることができます。写真中央のガラスで囲まれた部分は、通称「光庭」と呼ばれる吹抜けスペースです。屋上からの陽光が入ることで、周囲環境の変化や季節を感じられます。



8号棟4階 3年生・4年生の作業スペースとゼミごとの学生スペース

4階は、3年生と4年生が図面を描いたり、模型を作ったり、卒業設計や卒業論文に取り組んだりするゼミごとのスペースがあります。教員研究室もこの階にあるので、ゼミ生と教員が日常的に顔を合わせて議論をしてゼミ活動や卒業設計・卒業論文の作業を円滑に進めることができます。

本冊子では、本学建築学部教育環境や施設の一端をご紹介しますが、誌面の制約上、すべての内容を掲載することはできませんでした。実際には、学生の学修・研究活動、空間設計に込められた意図、教員の専門領域に関する情報など、さらに多くの内容がございます。

より詳細な情報につきましては、本学建築学部の公式 Web サイトにてご覧いただけます。写真や動画による施設紹介、授業風景、最新の研究活動やイベント情報などを随時発信しております。

本冊子で興味をお持ちいただけの方は、ぜひ Web サイトにもアクセスいただき、建築学部の全体像とその魅力について、より深くご理解いただければ幸いです。

<https://arch.aasa.ac.jp>



© 2025 愛知淑徳大学建築学部

写真提供：日建設計

編集：建築学部

本写真集に掲載された文章・写真の無断転載・複製を禁じます。掲載内容は取材当時の情報に基づいており、現在とは一部異なる場合があります。

